

令和7年度点検・自己評価報告書

1.教育理念・目的・育成人材像

A：達成されている。 B:ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。 C：達成に向け努力している。

1-1 理念、目的、育成人材像

点検項目	評価	まとめ
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	A	<p>「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（日本語教育機関認定法）」が、2024年4月1日に施行されたことを踏まえ、本校の日本語教育機関としての存在意義について再構築しています。</p> <p>具体的には、採択教材を変更し「日本語教育の参照枠」で示す五つの言語活動（「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り、発表）」「書くこと」）を教育課程に盛り込み、言語活動を行う上でのコミュニケーション言語方略の重要性を認識し、言語知識の定着にとどまらず、言語の運用能力、言語使用の際の方略（ストラテジー）能力についても学ぶことができる活動を教室活動に盛り込むようにします。</p> <p>また、「幅広い教養を身に付け社会の要請と時代の変化に対応できる人材の育成、実際生活に即応できる能力の育成、個性的で現代社会に創造的に適応できる人材の育成を語学の習得を通して行う」が本校の教育理念です。その理念は、ホームページの代表挨拶のページにて可視化が実現されています。</p> <p>この理念は全学生及び全教職員が日々の学びの場において立ち還る座標であり本校の原点であることから、その周知のためにより一層の努力改善がされるべきです。</p> <p>そして、学習者（生徒）が、自分に必要な日本語能力を具体的に意識し、学習計画を立てたり、学習計画を自分に合った方法で管理したり、調整したりすることができるようになることを目指します。</p> <p>また、学生の就職先となる業界等が求めている人材像や必要な能力を的確に捉え、その求めに応えられるような教育を、業界等の協力を得ながら推進していきます。</p>
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	B	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	A	
1-1-4 社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	A	
1-1-5 育成人材像は、社会のニーズにあっているか	B	

2.学校運営

A：達成されている。 B:ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。 C：達成に向け努力している。

2-2 運営方針

点検項目	評価	まとめ
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	A	<p>運営方針は、定期的な全職員を集めた場で周知を図っています。目標達成のために、組織体制、職務分掌、スケジュール等、具体的な事項を実行計画として策定し、教育活動を展開しています。運営組織は、運営会議、教務会議、広報会議、事務局会議を通じてそれぞれの角度から、客観的に教育活動等の目標達成のために評価・審議を行い、特徴のある学校運営に取り組んでいる。</p>

2-3 事業計画

点検項目	評価	まとめ
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	B	<p>学生募集、教育、進路指導について年間の事業計画を策定していますが、事業計画の施行体制、業務分担等は各部門ごとに都度精査されていますが、法人全体においては不十分と思われます。さらに、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（日本語教育機関認定法）」が、2024年4月1日に施行されたことを踏まえ、事業計画を法律に沿った方向性に修正する予定です。</p>